

北区計画

人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる
緑といで湯のまち



大沢町



長尾町



道場町



淡河町



八多町



有野町



山田町



鈴蘭台



有馬町



北区の花
菊とスズラン

編集・発行

神戸市北区役所

〒651-1114 神戸市北区鈴蘭台西町1-25-1

TEL 078-593-1111

ホームページアドレス <http://www.city.kobe.lg.jp/kita/>

電子メールアドレス kitaku@office.city.kobe.lg.jp

神戸市企画調整局総合計画課

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1

TEL 078-322-5029(5030)

神戸市広報印刷物登録 平成22年度第411号(広報印刷物規格A-1)



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

R70

50%以上再生紙を使用した印刷物

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



はじめに



北区では、1996年に「区別計画」、2005年に「区中期計画」を策定し、区民の皆様と協働して、区の個性を活かしたまちづくりを進めてまいりました。これら2つの計画は2010年で期限を迎えましたが、少子・超高齢化の進展など全市的な課題に加えて、地域を取り巻く課題も大きく変化しています。これらを解決し、さらに魅力あるまちづくりを進めていくため、2025年に向けた区の将来の姿を描くとともに、2015年度までの区の実行計画として、「北区計画」を策定しました。

策定にあたりましては、区民アンケートやシンポジウム、ワークショップ、パブリックコメント(市民意見の募集)などにより、多くの区民の皆様のご意見を聞きながら、区民まちづくり会議を中心に、熱心に検討いただきました。区の個性や独自性あふれる計画の策定にご尽力いただいた区民まちづくり会議の皆様をはじめ、ご意見をお寄せいただいたすべての皆様に、心から感謝を申し上げます。

今後、計画の実行におきましても、区民の皆様とのさらなる協働の取り組みが不可欠であり、「区中期計画」に引き続き、「地域が主体」「地域と行政が協働」「行政が主体」という主体ごとの役割が「北区計画」に位置づけられています。

これは、長期的な神戸づくりの方向性を示す「神戸づくりの指針」に掲げた「協創^{きょうそう}」を具体化したものであると考えています。「協創」は、「ひと(人)」を「たから(財)」と捉え、多様な「人財」がきずなを深めながら、みんなの力で豊かなまちにしていこうとするもので、協働と参画をさらに進めた姿です。

この「協創」によるまちづくりを進め、「北区計画」の将来像である「人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑といで湯のまち」の実現のため、ともに力を合わせて計画の実践に取り組んでいただきますよう区民の皆様をお願い申し上げます。

平成23年2月

神戸市長 矢田立郎

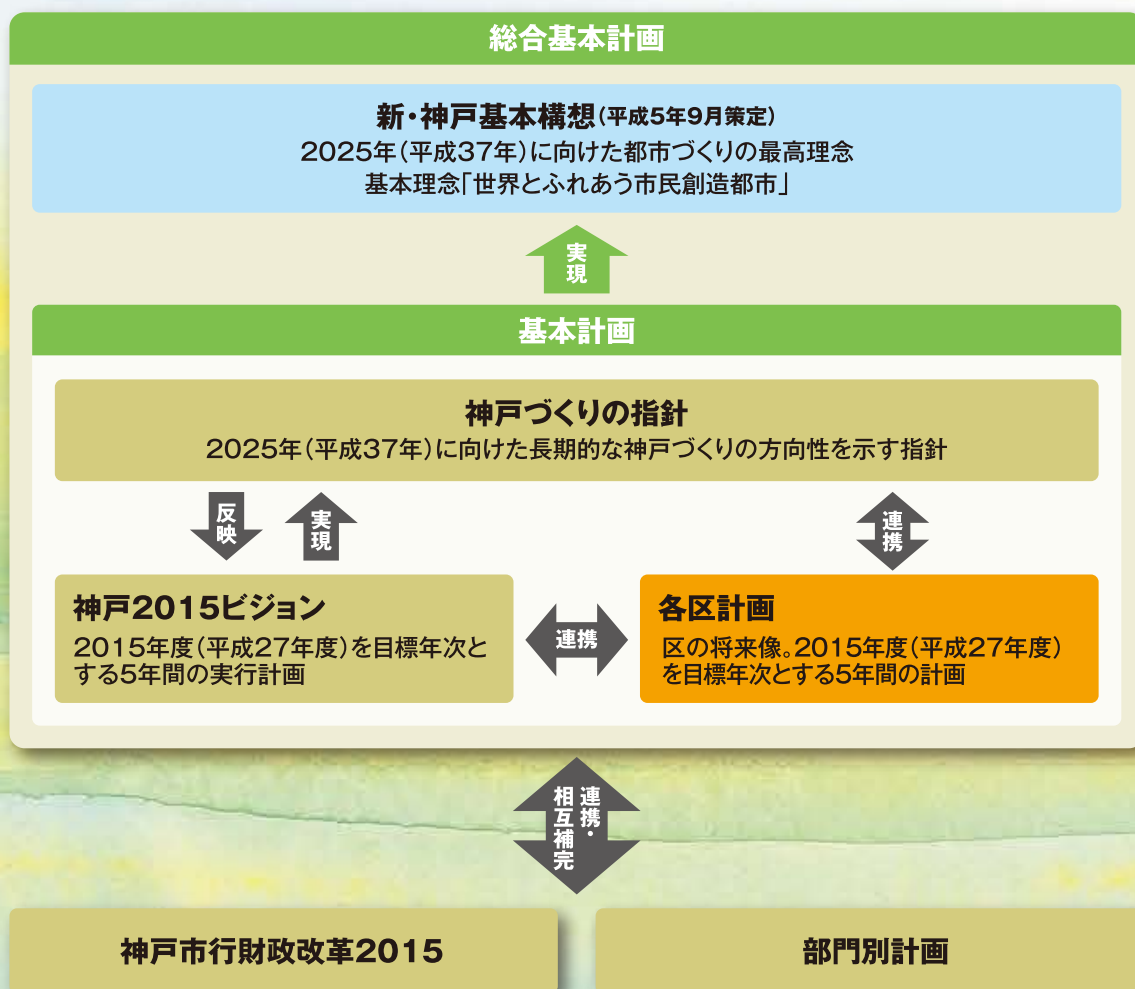
北区計画とは

北区計画は、区民のみなさんと北区役所などが2025年(平成37年)をめざした区の将来像と2015年度(平成27年度)までの区のまちづくりの目標を共有し、協働で取り組むための計画です。

策定にあたっては、区民のみなさんや地域団体等のご意見をお聞きしながら、北区民まちづくり会議が中心となって、とりまとめを行いました。

区の個性や特性を活かして、区民の生活に密着した分野を中心に、重点的に取り組むことをまとめています。

全市的な視点でまとめている「神戸づくりの指針」「神戸2015ビジョン」とともに、神戸市の基本計画として相互に連携しながら一体的に取り組みを進めていきます。



目次

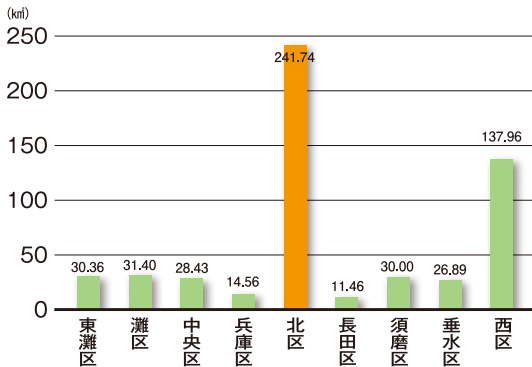
第1章	北区の現状と課題	06
第2章	北区計画の策定にあたって	09
第3章	2025年の北区の将来像	10
第4章	5年間の重点テーマと取り組みの柱	11
第5章	2015年度までの 5年間の取り組み	12
	■重点テーマ ① 地域力の向上	12
	② 北区の魅力の活用と情報発信	14
	③ 安全で便利なくらしの実現	17
	④ 次世代づくり	20
	⑤ 健康づくりと福祉の充実	22
	⑥ 美しいまちの推進	25
第6章	計画の実現に向けて	28
<参考>	北区計画の策定経緯	30

北区の現状と課題

区域

全市面積の約44%を占め、大阪市の面積よりも広く、垂水区以外の各区及び芦屋市・西宮市・宝塚市・三田市・三木市といった周辺の5市と境界を接しています。

■各区面積(平成22年9月)



■北区の区域



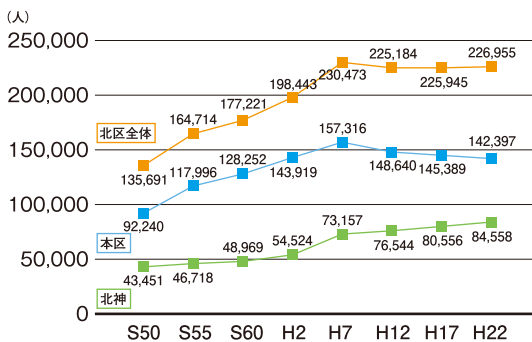
課題

広大な北区では、公共交通の確保や行政サービスの充実、各地域の連携など、地域特性に応じた取り組みが必要です。また、今後は区内各地域や他区のみならず、周辺5市との連携・交流も深めていく必要があります。

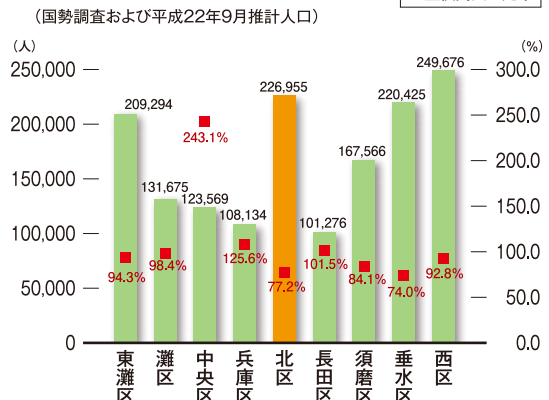
人口

昭和48年の分区当時の人口は、約11万7千人でしたが、大規模な住宅団地の開発等により、現在では西区に次ぎ、全市で第2位の約22万7千人となっています。人口推移は、近年横ばい傾向にあります。

■人口推移(国勢調査および平成22年9月推計人口)



■各区の人口・昼夜間人口比率



課題

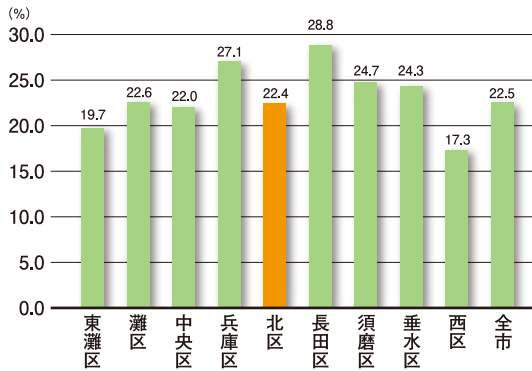
本区では既に人口減少傾向にあり、北神地域もここ数年で人口はピークに達すると考えられます。国立社会保障・人口問題研究所による推計では、2025年(平成37年)の北区の人口は約20万5千人と、現在より9.7%減少するとされています。

また、北区は昼夜間人口比率が77.2%と低くなっており、ベッドタウンとしての傾向が顕著です。さらに安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、北区をいつまでも住み続けたいまちとして発展していく必要があります。

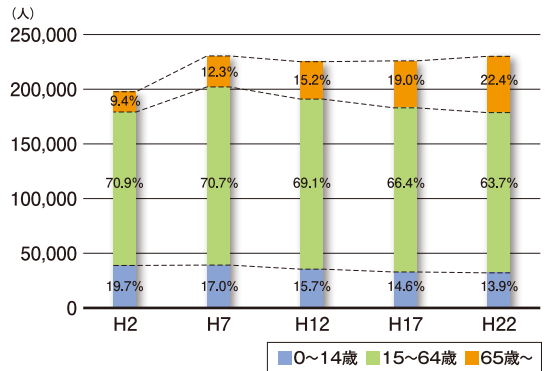
人口構成

高齢化率は、年々上昇し、現在北区全体で22.4%となっています。なかでも農村地域や、住宅団地でオールタウン化している地域では30%を超えるところもあり、高齢化が進んでいます。また少子化も進み、14歳以下の人口が15%を割っています。

■各区の高齢化率(平成22年9月末住民基本台帳)



■北区の人口構成推移(国勢調査および平成22年9月末住民基本台帳)



課題

区全体としての高齢化率は、全市平均並みですが、地域によっては非常に高い地域もあり、出生率の低下と平均寿命の伸びにより、今後ますます少子・超高齢化が進んでいきます。

高齢者のみの世帯や単独世帯、夫婦のみの世帯など家族形態の多様化やそれぞれの地域の実情を十分考慮したうえで、福祉や医療、子育て支援などの施策を充実していく必要があります。

自然・文化

北区は、六甲山の北側、帝釈・丹生山系に広がっており、他の大都市には見られないほどの豊かな自然が残っています。また、有形・無形の指定文化財も110件と多く、歴史に関する行事等もたくさん残っています。



山田町の田園風景

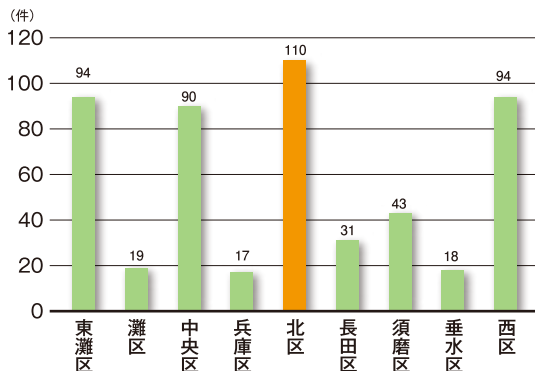


箱木千年家



御弓神事(淡河町)

■指定文化財数(平成21年)



課題

豊かな自然や文化、そして環境を守り育てるとともに、さらに活用し、地域の活性化につなげていく必要があります。

また、北区の魅力を区内外に広く情報発信していく必要があります。

産業

北区の主な産業としては、古くから谷あいの川沿いに発展してきた農業と、有馬温泉に代表される観光があります。

農業振興では、いちごや新鉄砲ゆりなど新たな地域ブランドづくりが進められています。また、観光振興では、「金の湯」や「銀の湯」など有馬温泉を中心にハード面の整備が進められてきています。



新鉄砲ゆり



二郎のいちご



淡河そば



有馬温泉



金の湯



フルーツ・フラワーパーク

課題

農業では、従事者の高齢化や後継者不足、遊休農地の増加などが深刻です。そのため、都市部との交流、有馬温泉など観光資源との連携・交流や新たな地域ブランドづくりなどを進め、活性化を図る必要があります。

また、観光においても、有馬温泉を中心に、区内および周辺観光資源との連携や情報発信を進めるなど、さらなる振興・活性化を図っていく必要があります。



北区計画の策定にあたって

●北区中期計画の検証・評価を踏まえて

北区計画の策定にあたっては、平成17年6月に策定した「北区中期計画」の検証・評価を踏まえ、残された課題は継続して取り組むこととしています。

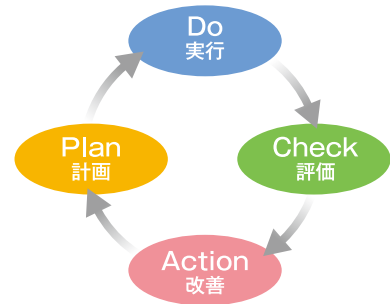
また、中期計画策定以降に生じた課題など新たな区民ニーズにも積極的に取り組むこととしています。

●区民との協働と参画による検討

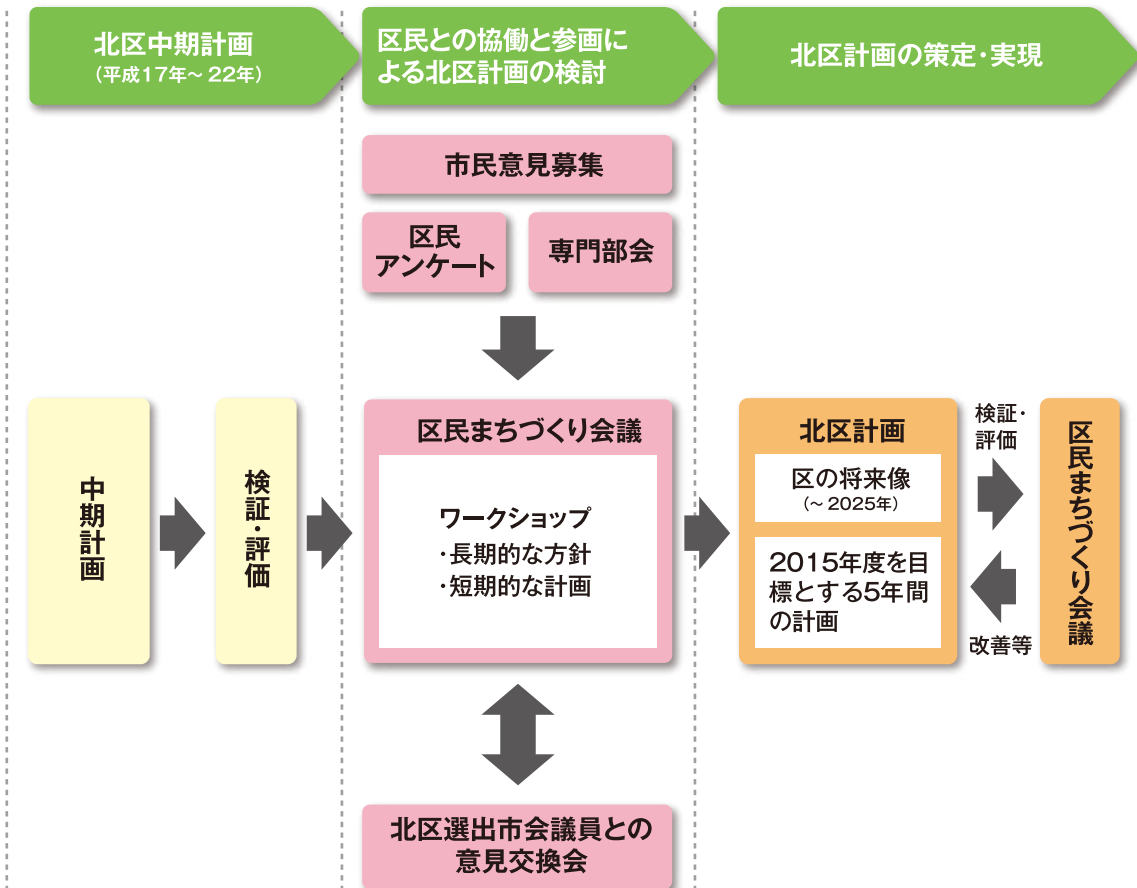
北区計画は、区の個性、地域特性を活かし、生活に密着した分野を中心に、区民のみなさんや地域団体等の意見を聞きながら、北区民まちづくり会議が中心となってとりまとめを行いました。

●北区計画の実現に向けて

北区計画の実現に向けて、区民まちづくり会議が検証・評価し、その結果を踏まえて改善等に取り組むPDCAサイクル(Plan計画・Do実行・Check評価・Action改善)により進行管理を行います。



PDCAサイクル



2025年の北区の将来像

人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑といで湯のまち

北区中期計画(H17～22)の将来像である

「人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑のまち」に

北区の特徴・魅力である有馬温泉をさらにまちづくりに活用していくため、「いで湯」を加え、めざすべき将来像としました。



2025年の北区の将来像は、大きく**4**つの内容で構成します。

●人が集うまち

人と人とのつながりを大切にし、農村地域とニュータウンなど都市部との地域連携・地域交流を促し、人・もの・情報が行き交い、暮らす人・訪れる人など多くの**人が集うまち**づくりを進めます。



●安心して暮らせるまち

広い区域、地形、まちの成り立ちなど、北区の地域特性を考慮したうえで、交通環境の向上など、日常生活における利便性・安全性を高め、子育て世代や高齢者などあらゆる世代が将来にわたって**安心して暮らせるまち**づくりを進めます。

●魅力あふれるまち

北区に数多く残されている名所旧跡や伝統芸能などの歴史文化資源の保存・継承と活用を行い、**魅力あふれるまち**づくりを進めます。



●緑といで湯のまち

北区は、美しい山々や都市部に隣接した農村地域など、豊かな自然に恵まれた**緑のまち**であり、環境マナー先進地であるこの北区の美しい環境を、次世代のため守り育てていきます。

また、全国的に有名な**いで湯のまち**「有馬温泉」を、観光をはじめ健康づくりなど様々な分野に活用し、北区の活性化を図っていきます。

5年間の重点テーマと取り組みの柱

将来像の実現に向けて、2015年度までの5年間に於いて、6つの重点テーマを設定し、具体的な取り組みを進めていきます。



人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる 緑といで湯のまち

2015年度までの5年間の取り組み

重点テーマ① 地域力の向上

地域社会が持つ様々な課題解決のために、地域と行政がお互いの役割分担を理解したうえで、暮らしやすく魅力的なまちづくりに向けて、地域住民が主体的に取り組むことが重要です。

このように、地域が主体的に課題を解決していく意識や能力、また、地域の資源や人材を地域力として捉え、地域力の発揮を行政が支援することで、持続可能で活力あるまちの実現をめざします。

具体的な取り組み

1. 地域内での地域力の向上

地域組織の充実

地域でのまちづくりや課題解決への取り組みは、自治会や婦人会をはじめとした地域組織による活動が重要な役割を占めています。そのため、地域活動への参加者を増やす取り組みや自治会組織の無いニュータウンなどでの自治会づくりなどを進めます。

また、地域の活性化には、継続した活動が必要であり、「新任自治会長研修」などにより、地域活動を担っていくリーダーの育成を図ります。



新任自治会長研修

2. 地域間の連携による地域力の向上

他団体・他地域との連携

地域の課題が多様化・複雑化するなかで、地域の多様な主体が、相互に連携・分担して地域のニーズに対応した取り組みを進めていきます。

例えば、北神地域におけるバス路線の維持など生活交通の問題、ニュータウンと旧町との交流など、各町が抱えている課題は共通するものも多く、少子・超高齢化や地域福祉などは、ほとんどの地域で共通する課題となっています。

そのため、「北区連合自治協議会情報交換会」や「北区ふれあいのまちづくり協議会情報交換会」を充実させるなど、他の自治会や団体などとの交流、情報交換や合同での取り組みを行うことで、他の地域での取り組みを参考にしながら課題解決や地域の活性化を図ります。

さらに、道場、長尾、大沢、八多および鹿の子台の自治会が連携して開催している「五町めぐりハイキング」など地域間交流イベントの開催を促進し、ネットワークを広げていきます。



北区連合自治協議会情報交換会

周辺市との連携・交流促進

北神地域を中心に通勤・通学や買い物など、日常生活において近隣市と深い関係にあります。そのため、図書館など公共施設の共同利用や、医療体制の充実など、周辺市との連携・交流を深めていきます。



五町合同の情報誌の発行

3.地域力の向上を支える体制づくり

地域活動への支援

平成15年度から実施している「地域提案型活動助成制度」を継続し、区民自ら企画・実施する、よりよい地域づくりのための新たな地域活動を支援します。

また、「まち育てサポーター」^{※1}を適宜連絡所に配置するなど、連絡所が地域と行政とのパイプ役となり、地域活動へのアドバイスや行政情報の提供など、まちづくりの支援を行います。

特に、まちづくり協定などに基づき、具体的な課題解決やまちの活性化等に取り組んでいる下唐櫃・西二郎・道場八多・有馬・大沢については、専門的知識を持ったコンサルタントを派遣するなど、まちづくり協議会等への支援を行います。



地域提案型活動助成による新たな地域活動
(中里町にすずらんを育てる会)

行政サービスの充実

各種諸証明の発行など窓口業務の充実に加え、子育てから介護までの支援や北神地域のまちづくり支援のため、北神出張所の機能充実を図ります。

また、新たに整備された北神区民センターを、北区民センターと併せ、十分に活用し、地域活動のさらなる活性化を図るなど、文化・コミュニティ活動の拠点づくりを進めます。

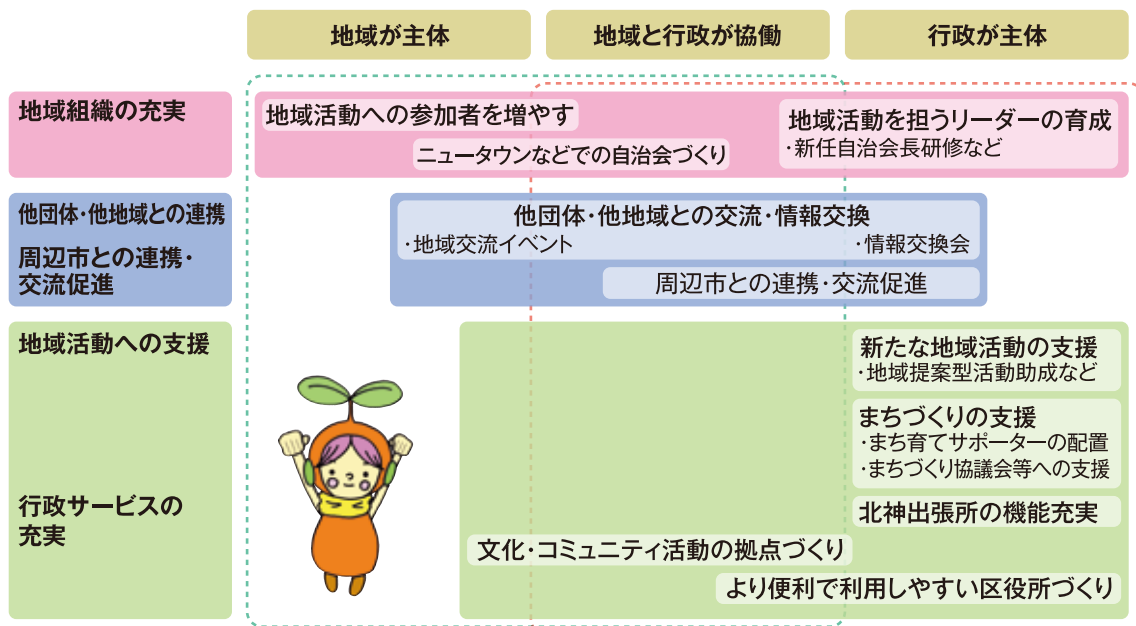
さらに、老朽化している区役所の建て替えについては、神戸電鉄鈴蘭台駅前のまちづくりのなかで検討を進め、より便利で利用しやすい区役所づくりをめざします。

なお、分区分については、人口推移を踏まえながら、市民の利便性、地域特性や歴史、行政の効率性など総合的な観点から検討していきます。



北神区民センター 完成イメージ

取り組みイメージ



※マークはP35の用語集へ

重点テーマ② 北区の魅力の活用と情報発信

帝釈・丹生山のふもとには、ゆったりと田園風景が広がり、古くからの神社・仏閣が数多く点在しています。また、農村歌舞伎舞台や箱木千年家に代表される茅葺き民家のほか、六條八幡神社の流鏝馬や淡河八幡神社の御弓神事など有形・無形の文化財や伝統行事などがたくさん残されています。

さらに、六甲の山並みや溪谷も大変美しく、その山並みに抱かれた有馬温泉は、日本最古の温泉の一つとして、全国的に有名です。

この貴重な資源を北区の魅力として活用するとともに、幅広く情報発信し、区民だけでなく多くの人に北区に足を運んでもらい、まちの活性化を図ります。

具体的な取り組み

1. 自然や歴史とのふれあい

自然や歴史とふれあうイベントの開催

農村地域の田園風景を背景に開催される「おおぞうどろんこバレーボール大会」や、四季折々の風景を楽しみながら名所旧跡などを散策するハイキングの開催を支援するなど、北区の豊かな自然や歴史とふれあう機会づくりを充実させていきます。

また、北区に点在する農村歌舞伎舞台を活用し、伝統芸能である農村歌舞伎の上演会を開催し、この歴史文化資源の保存・振興を図っていきます。



農村歌舞伎上演会



箱木千年家ライブ

農村景観の保存・活用

北区には約750棟の茅葺き民家が現存するなど、豊かな農村景観が広がっています。この茅葺き民家を活用したイベントや茅刈り体験などを開催し、「茅葺き」を取り巻く農村景観の保存・活用、継承等の活動を支援していきます。

2. 「農」の活用

都市部と農村の交流

都市部と農村地域が隣接している立地特性を活かし、農業とふれあう機会として、国営明石海峡公園神戸地区内で開催している「親子コメづくり道場」や、「淡河農都ふれあい隊」などの農業体験イベントを活用し、都市部と農村の交流を進めていきます。

また、北区内に数多くある貸農園・観光農園や農産物の直売所を積極的に活用・PRするとともに、学校給食に利用するなど、地産地消を推進していきます。



親子コメづくり道場

農業の活性化

北区では、豊かな自然と農村資源を活かし、古くから農業が営まれ、生産を通じて地域に活力を与えてきました。

しかし、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加など様々な課題が生じています。

そのため、「大沢農業塾」などを通じて新規就農者の育成や援農の仕組みづくりを支援していきます。

また、北区の特産品として「山田錦」「山田の菊」「二郎のいちご」「淡河の新鉄砲ゆり」「北神みそ」など地域のブランド品が数多くあります。この地域ブランドを様々なイベントや機会を通じて活用・PRし、北神ブランドの強化・普及を図ります。

さらに、急増しているアライグマなど特定外来生物やイノシシなどの有害鳥獣による農作物・住民への被害防止に取り組んでいきます。



山田錦



山田の菊



北神みそ

3. 観光資源の活用

有馬温泉等の活性化

北区には、日本三大古泉といわれる有馬温泉をはじめ、フルーツ・フラワーパークや森林植物園などの観光地や、各地に点在する名所旧跡などの歴史資源、豊かな自然といった観光資源が数多くあります。また、最近では、道の駅「淡河」や上津台の大規模商業施設なども人気を集めています。

観光客のニーズが多様化するなか、多くの人に北区に訪れていただくために、有馬温泉をはじめとする北区内の観光資源の活用やPRを図るとともに、市域を超えた周辺地域との連携を深めるための仕組みづくりを支援していきます。

また、有馬温泉をはじめとする観光と、北区の農業とが連携できる機会を創出し、地域の活性化や地産地消を進めていきます。



有馬温泉「入初式」



森林植物園

4. 情報の発信

北区の魅力を伝える人材の育成・活用

北区の各地域では、独自の文化が根付き、様々な伝統行事が受け継がれています。これらの地域の魅力を伝え、継承していくために、各地域で担い手を育成していきます。

また、歴史文化を学び体験する場として「農村歌舞伎体験教室」や「歴史講演会」を開催し、人材の育成を支援していきます。

さらに、北区民のまつりである「きたきたまつり」や、「スクールフェスタ」の開催により、区民間の交流を促進するとともに、様々な活動をする人たちの発表の場を広げていきます。



農村歌舞伎体験教室



情報の発信

北区民も含め一般に知られていない北区の魅力は数多くあります。そのため、ホームページでの動画配信の充実を図るなど、分かりやすく情報発信します。

また、地域のイベント等を市民の視点で取材する「広報サポーター」の活動を、広報紙やホームページに掲載するほか、「広報サポーターだより」として発行するなど、より親しみのある情報を幅広く発信していきます。

さらに、引き続き、多様なコースを紹介する「ハイキングレクリエーションガイド&マップ」や、伝統行事・伝統文化を紹介する「ふるさと魅力発信ガイドブック&スタンプラリー」を発行し、北区の魅力を伝え、体験していただきます。

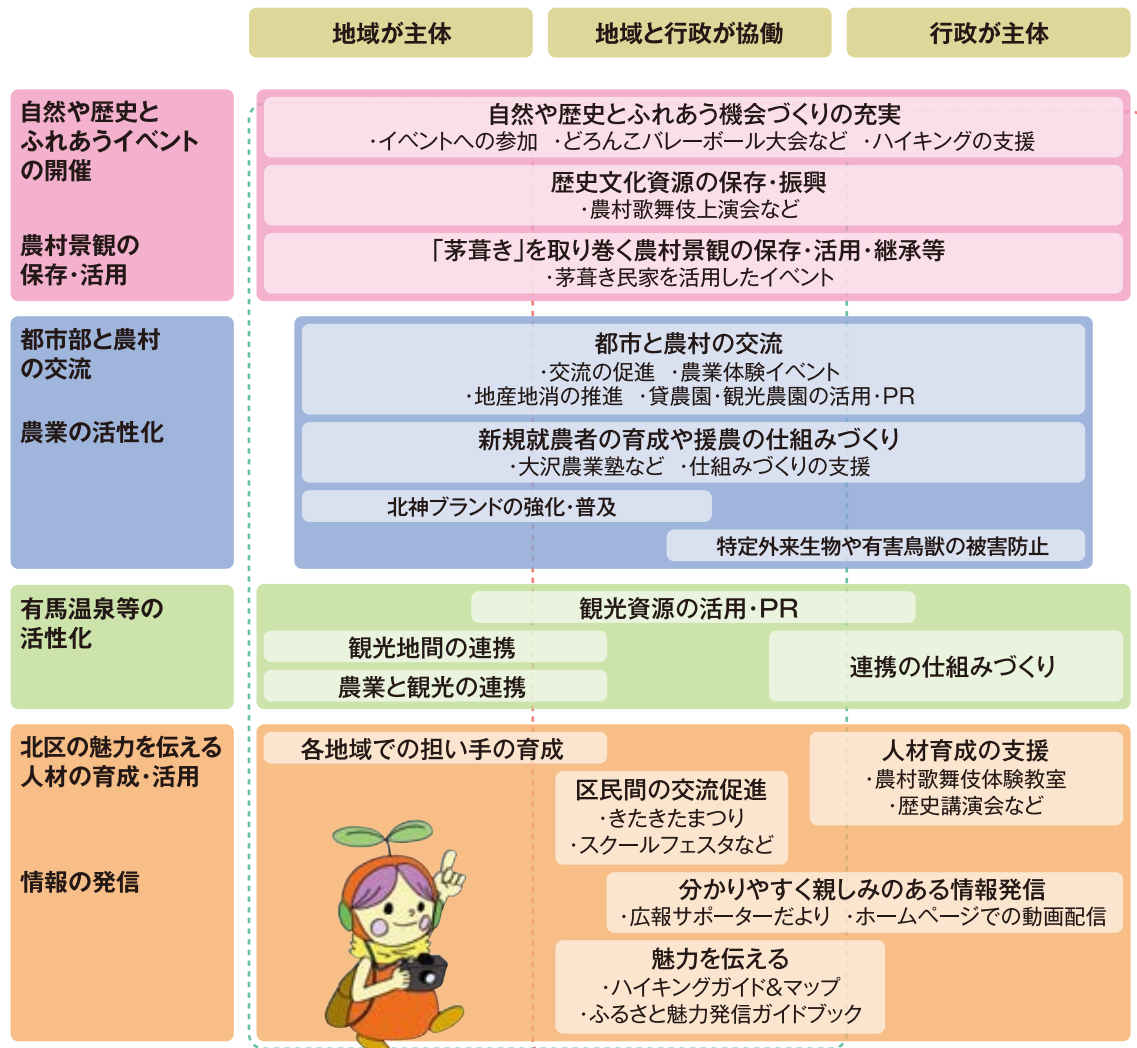


きたきたまつり



ハイキングマップ

取り組みイメージ



重点テーマ③ 安全で便利なくらしの実現

広大な北区では、移動手段の確保や安全な道路の整備は、日常生活とは切り離せない関係にあります。

特に、超高齢社会を踏まえ、地域間のみならず、地域内での移動手段の確保について、真剣に取り組み、安全で便利なくらしの実現をめざします。

また、犯罪や災害のない安全で安心な地域社会の実現は区民共通の願いです。日頃からの防犯・防災意識を高めることで、さらに安全・安心なまちづくりを区民の皆さんと協働で取り組んでいきます。

具体的な取り組み

1. 便利なまちの推進

公共交通等の確保

超高齢社会をむかえ、区民のくらしにとって、鉄道、バスなど公共交通も含め、移動手段の確保が重要な課題になっています。

特に、公共交通については、高齢者・障がい者など交通弱者の貴重な足として、また通学手段として、大変重要です。

これら公共交通の既存路線の維持・充実のため、地域が主体となって利用促進を図るとともに、既存路線の継続的な運行に向けて地域と事業者との調整を図ります。

また、バス等の公共交通の路線のない地域においては、「淡河町ゾーンバス」のような地域コミュニティバスの実現に向け、支援していきます。



淡河町ゾーンバス



神戸電鉄粟生線活性化イベント

定住の促進

少子・超高齢化が進む北神地域の農村地域や、オールドタウン化してきている住宅団地などにおいて、地域ぐるみで実施している定住に向けた活動を支援し、人口流出の抑制を図るとともに、地域の活性化を図ります。



2.安全なまちの推進

道路・駅前整備による環境改善

高齢者や障がい者をはじめ、全ての人が住みなれた地域で安全・安心に生活できるよう、地域と行政が共にまちを点検し、街灯の増設や道路の補修、また歩道のバリアフリー化など交通環境の改善を図ります。

また、鈴蘭台駅前や大池駅前などにおいて駅前整備を進め、交通安全の確保およびまちの活性化を図ります。

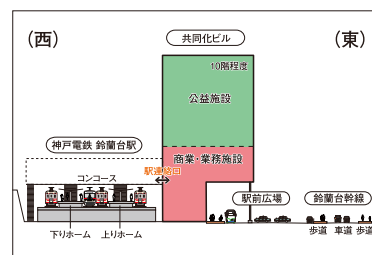
特に鈴蘭台駅前周辺は、区役所や区民センターなど公共公益施設が集まる北区の玄関口でありながら、人と車が交錯して非常に危険な状況であり、ゆったりとした歩行者空間と、交通結節点としての機能を有した駅前広場を整備します。

また、まちづくりにあたっては、にぎわいづくりのためのビルの共同化を進めるとともに、周辺のバリアフリー化などユニバーサルデザインに配慮した整備を行います。

さらに、多くの人々が訪れる有馬温泉において、神戸を代表する観光地にふさわしい景観形成や安全な道路空間の創出を図ります。



まちの点検による手すりの設置



鈴蘭台駅前整備イメージ図(東西断面図)

防災活動の充実と防災体制の強化

地域における防災福祉コミュニティ活動への参加や、市民救命士の資格取得を促し、防災意識・知識の向上を図るとともに、家具の固定や耐震診断・改修など、すまいの耐震化を進め、家庭や地域で災害に備えていきます。また、市民防災センターを活用した訓練や研修など防災教育の支援を行い、防災活動の充実を図ります。



防災訓練

防犯活動の充実と防犯体制の強化

子ども見守り活動に継続的に取り組むなど地域での防犯活動を充実していきます。

また、地域での優れた防犯活動の紹介や意見交換など、地域間の交流を図る場として「地域学習交流会」を開催し、地域の課題解決や実践活動を支援します。

さらに、犯罪の減少、未然防止に向け、地域と警察、区役所の連携を強化し、安全・安心なまちづくりを進めていきます。



北区民暴力団追放大会



危機管理体制の強化

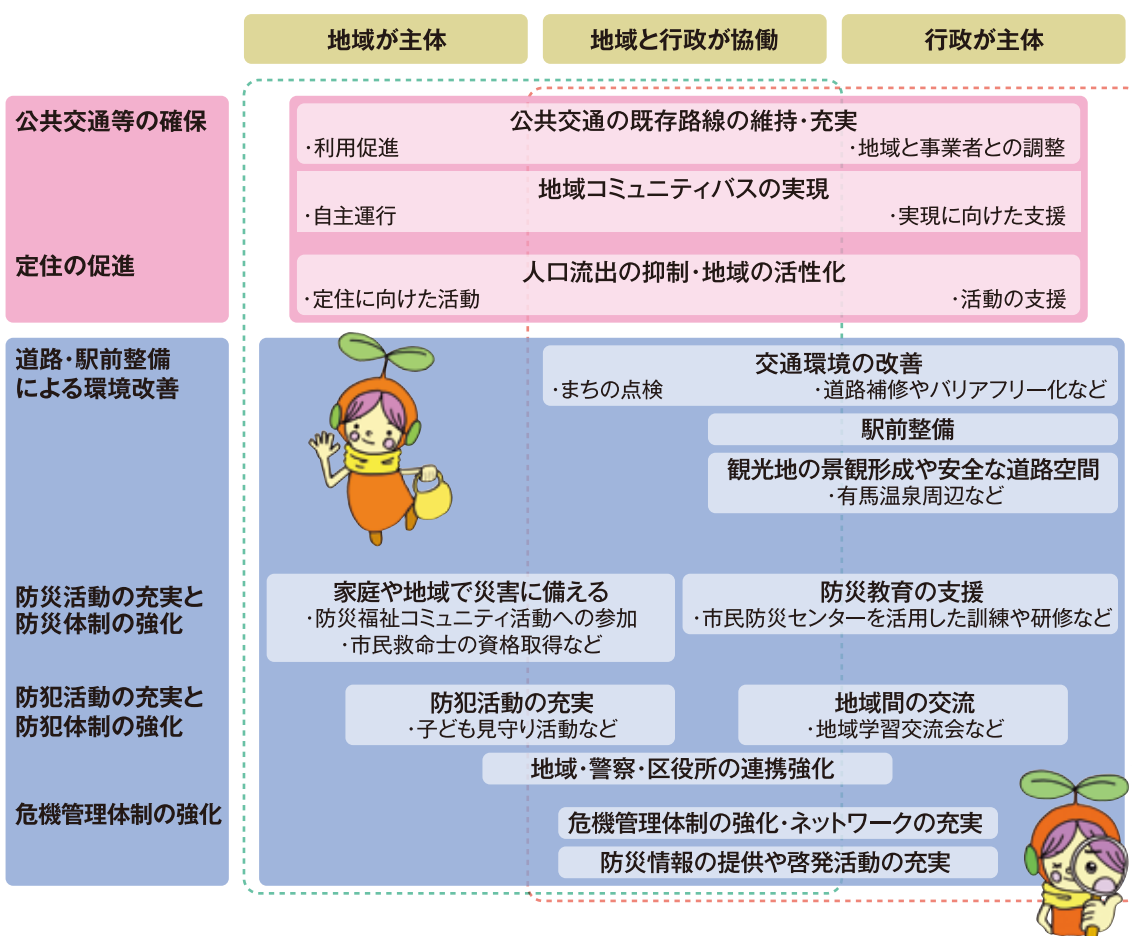
風水害や地震、さらには新型インフルエンザなどの感染症の発生に対し、「北区安全会議」「北区感染症対策連絡会」を開催するなど、医療機関、消防署、警察、保健所、学校、関係機関等との連携のもと、危機管理体制の強化、ネットワークの充実を図ります。

また、ゲリラ豪雨などによる突発的な災害に備えるため、危険箇所や避難場所などの防災情報の提供や啓発活動の充実を図ります。



防災パトロール

取り組みイメージ



重点テーマ④ 次世代づくり

子どもは次代を担う宝であり、社会全体で、次代を託す一員として大事に育てなければならぬ存在です。すべての人が安心して、ゆとりをもって子どもを産み育て、子どもが健やかに成長できるよう、次世代づくりを地域全体で支えていきます。

具体的な取り組み

1. 子どもを育てる

世代間交流による子育て支援

核家族化などを背景に、家庭や地域における養育力が低下しています。そのため、「きてきてカーニバル」等の世代間交流イベントを行い、親子・高齢者・主任児童委員・子育てサークル・大学生・ボランティア等、地域で子育てを支援する関係者が世代を超えて集まることにより、地域社会全体で子育てを応援する意識と養育力の向上を図っていきます。



きてきてカーニバル

子育て環境の整備

「乳幼児健康診査」や、「プレパパママ倶楽部(両親教室)」「すくすく赤ちゃんセミナー」「発達障がい児支援教室」などの各種子育て教室の開催や、北区独自の「発達障がい児支援啓発カード」の活用により、子育て不安の軽減や、発達障がいの早期発見に努めるなど、子育て支援の充実を図っていきます。

また、子育て中の親等が地域で親子遊びや情報交換などを行う「子育てサークル」を育成するとともに、「子育て支援マップ」の作成などにより、子育て支援に関する地域情報を発信していきます。



子育て支援マップ

神戸親和女子大学子育て支援センター「すくすく」との連携を図るほか、「子育て支援ネットワーク連絡会」を開催し、地域の子育て支援団体等のネットワークづくりにも積極的に取り組んでいきます。

さらに、「要保護児童対策地域協議会」を開催し、関係機関や地域と連携して、児童虐待の未然防止・早期発見、見守りに努めます。



子育て支援センター「すくすく」

次世代の親づくり

社会の将来を担う次世代の親となる子どもたちに、命や性の大切さを知る機会を提供するため、「専門職によるデリバリー授業」などを実施し、子どもの健全な育成を支援していきます。

2. 青少年を育てる

青少年育成活動の充実

北区各地での優れた青少年育成活動の内容を紹介するなど、活動の充実につながる情報の提供を行うほか、地域の課題の解決に役立つよう、「青少年育成協議会支部長会」を開催するなど、地域間の情報交換の場を設けていきます。



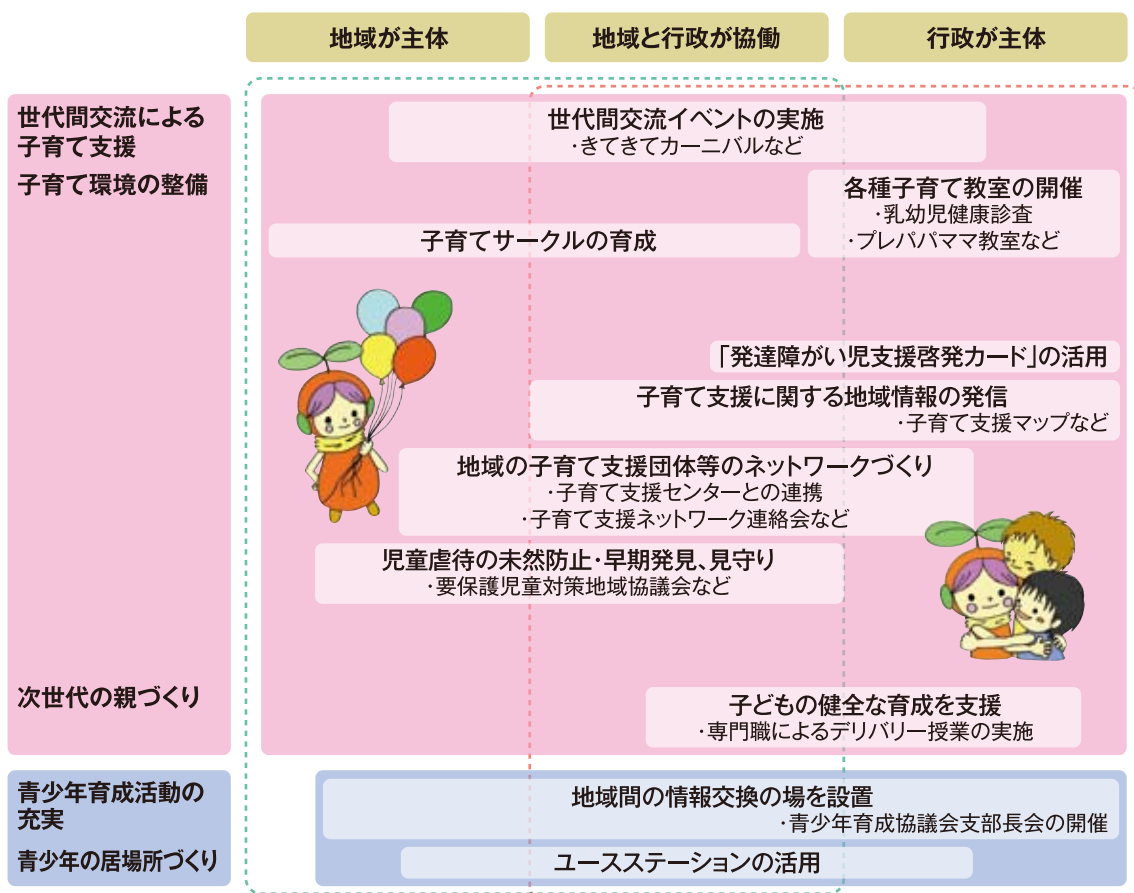
スクールフェスタ(青少年の活動の場)

青少年の居場所づくり

北神区民センターのユースステーション^{※3}の活用などにより、青少年が学校や家以外での自主的な活動を通じて夢や希望にチャレンジすると共に、年代や学校を超えた仲間づくりや地域とのふれあいの場と機会を提供していきます。

なお、本区における青少年の居場所開設についても、具体的に検討してきます。

取り組みイメージ



※マークはP35の用語集へ

重点テーマ⑤ 健康づくりと福祉の充実

急速な少子・超高齢化の進行、生活習慣病の増加は現代社会の深刻な問題となってきました。今後、超高齢化がさらに進み、健康に不安を感じる区民が増えていくことが予想されるため、生活習慣病などに対する一次予防を重視した区民自らの健康づくりを推進します。

また、高齢者や障がい者が安心して暮らせるために、地域の実情にあった、区民相互の助け合い・支え合いを、地域と行政が協働で取り組んでいきます。

具体的な取り組み

1.健康づくりの推進

日常からの健康づくり

食生活や運動などの日常的な生活習慣の改善は、生活習慣病などの一次予防となり、健康で健やかな暮らしに非常に役立ちます。そのため、区民が日頃から気軽にできる健康づくりとして、身近にある自然や歴史文化を活用した「健康ウォーク」や、大人から子どもまで楽しめる「北区ロードレース大会」「ふれあいグランドゴルフ大会」などの各種スポーツ大会を開催し、参加の促進を図っていきます。

また、「健康づくりリーダー」の養成を行い、健康づくりリーダーが、高齢者などへの参加の呼びかけや仲間づくりなど、地域での自主的な健康づくり活動を活発に行うことができるよう支援していきます。

有馬温泉と健康づくり

有馬温泉の魅力と、六甲山や有馬温泉癒しの森など、周辺の自然や施設、ハイキングロードなどを活用した健康づくりを支援していきます。

また、温泉の効能を活用した健康づくりについても支援していきます。



北区ロードレース大会



健康づくりリーダーフォロー研修



有馬温泉癒しの森

2.高齢・障がい福祉の充実

福祉を支える体制の充実

高齢者・障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会をつくるため、地域特性に配慮した福祉のまちづくりの実現をめざしていきます。

そのため、あんしんすこやかセンターや障害者地域生活支援センターと連携し、各種福祉サービスの充実を図るとともに、支援体制を強化します。

北区ケアネットワーク会議や北区地域自立支援協議会などの保健・医療・福祉に関する各関係機関のネットワークの強化を図り、高齢者虐待や認知症、障がい者の自立支援などについて適切な機関が対応できる体制や、課題の解決をめざす体制を充実します。

また、北区地域自立支援協議会などと協働し、「北区ふれあい講演会」や「北区ふれあいフェスタ」などのイベントを開催することで、区民の障がい者への理解、障がい者との交流を促進します。

さらに、遊休農地を活用した「農でデザインする福祉のまちづくり事業」により、障がい者の就労支援、高齢者の生きがいづくり等をめざす^{※4}ソーシャルビジネスを育成・支援するとともに、フルーツ・フラワーパークとも連携し、農業の活性化を図っていきます。

また、全国唯一の総合福祉ゾーンである「しあわせの村」と連携し、高齢者・障がい者の自立支援とすべての区民のふれあい交流を推進します。

地域福祉活動への支援

北区社会福祉協議会と協働し、民生委員児童委員やボランティア、地域団体などが実施する、地域見守りなどへの支援を行い、地域ニーズに対応した区民主導の地域福祉の推進を図っていきます。

また、各地域での先駆的な活動の内容を紹介するなど、活動の充実につながる情報の提供を行うほか、地域の課題の解決に役立つよう、「北区ふれあいのまちづくり協議会情報交換会」など各種交流会を開催し、地域間の情報交換の場を設けます。

さらに、ふれあいのまちづくり協議会に対する情報の提供、あんしんすこやかセンターとの連携促進等を通じ、住民相互の生活支援事業の推進を支援していきます。



農でデザインする福祉のまちづくり事業

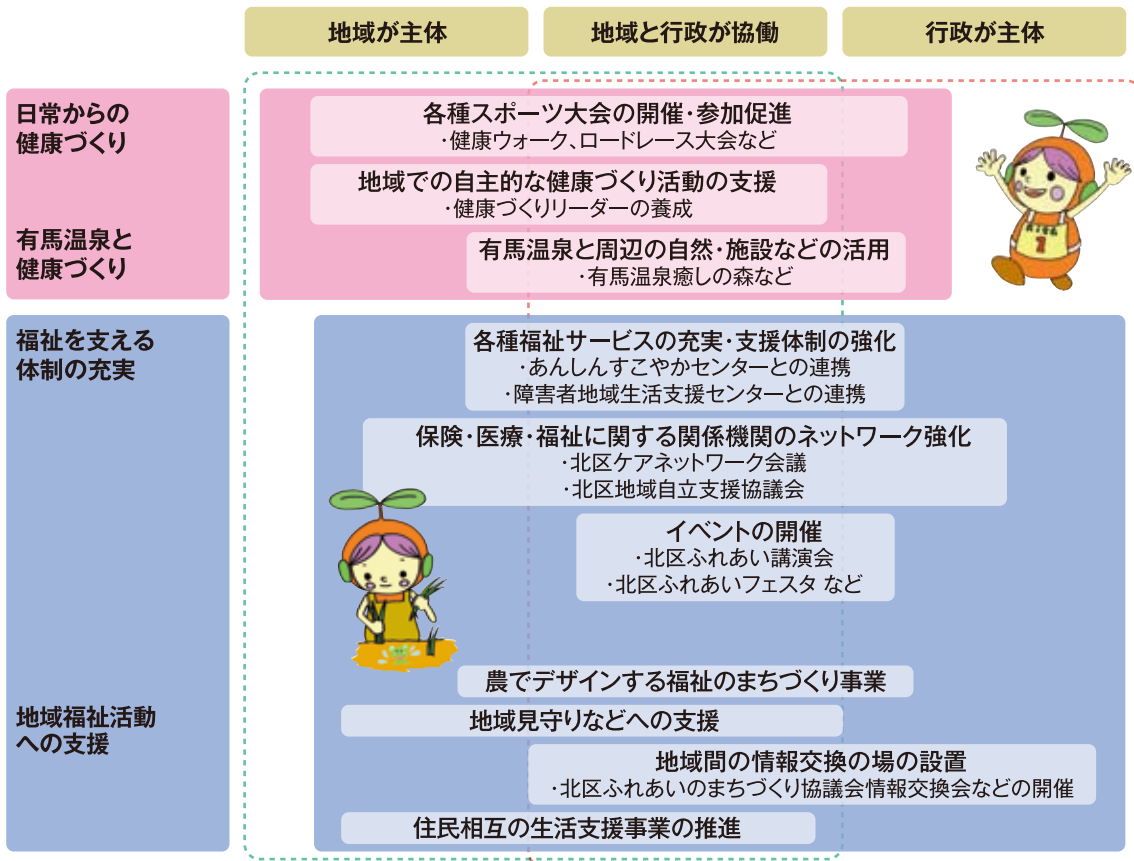


しあわせの村



ふれあい喫茶

取り組みイメージ



重点テーマ⑥ 美しいまちの推進

美しいまちは、区民全体の誇りです。

ごみは、一人ひとりが環境問題を意識し、ちょっとした心配りで減らすことができます。また、クリーン作戦などの環境美化活動は、誰にでもできます。一人でも多くの区民が環境問題に関心を持ち、美化活動やごみの減量・資源化・分別など、その輪が広がるよう取り組みを進めます。

具体的な取り組み

1. 美しいまちづくり

クリーン作戦のさらなる推進

北区では、ぼい捨て防止重点区域に指定された鈴蘭台駅・有馬温泉駅周辺のほか、主要駅周辺や、道路・公園等において、地域主体で定期的にクリーン作戦を実施しています。

これからも、若い世代や周辺企業の参加を促進するとともに活動地域の拡大に努めるなど、さらなる推進を図ります。



駅周辺のクリーン作戦

花や緑にふれあう機会の充実

美しいまちづくりを啓発し、地域の活性化を推進する「北区版^{※5}インフィオラータ」などのイベントの開催を支援します。

また、北区連合婦人会が中心となり取り組んでいる区役所前の「クリサンセмумストリート」や、区内各地で実施されている「ハミング広場」^{※7}、「市民花壇」^{※8}や「オープンガーデン」などに対し、技術講習などの支援を行います。



北区役所前のインフィオラータ

2. 豊かな自然を守り育てる

ごみの減量・資源化への取り組み

北区は、容器包装プラスチックの分別収集を他区に先駆けて平成20年度から実施するなど、ごみ・環境に対する意識が非常に高い区です。今後も婦人会の「ワケトンおたすけ隊」や神戸親和女子大学の「ワケトンダンス」など、ごみ分別の広報・啓発活動を充実するとともに、家庭ごみの減量や分別の徹底など、各家庭でごみの減量・資源化に取り組みます。

また、地域の環境問題の課題を考え、解決するための目標を設定し、行政がそれを支援する「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」を、より多くの地域と締結します。

さらに、園児及び小学生を対象とする環境学習「ふれあいごみスクール」を拡充するとともに、区内の事業者や区民の協力のもと、レジ袋削減の新たな取り組みを進めていくほか、ごみとして出された不用品を再使用し、必要とされる方に提供する「ま



容器包装プラスチック分別収集先行実施

「だ使えるごみ展」の開催や、NPOなどの取り組みを支援するなど、区民・事業者・行政が協働し、北区全体でごみの減量・資源化に取り組めます。



ごみの減量・資源化協定締結式

環境保全への取り組み

「山田川クリーン作戦」などの河川愛護活動やハイキングの機会を活用したごみ拾いなど、自然環境を守り・育てるための市民活動を促進し、水と緑が豊かな北区の自然を守る意識の醸成を図っていきます。

また、人目に付きにくい山間部や農村部での大型ごみの不法投棄が多いため、地域と行政が連携して、日常的な不法投棄等に対する監視の目を醸成し、不法投棄等をさせない・ゆるさない地域づくりをめざします。



山田川クリーン作戦

KEMS(神戸環境マネジメントシステム)

環境への負荷を低減するため、区役所が中心となって、区民・事業者等とともにKEMS(神戸環境マネジメントシステム)を推進するとともに、より多くの事業者等が環境保全活動に自主的・継続的に取り組めるよう、普及拡大をめざします。



大沢小学校KEMSの取り組み

3. マナー・モラルの向上

ごみ出しマナー等の向上

ごみ出しルールを徹底するためには、地域ぐるみの取り組みが必要です。そのため、「ワケトンコーナー」を活用したごみ出しルールの啓発やクリーンステーションの立番に取り組んでいきます。

また、農村地域の幹線道路沿いでの車からのぼい捨てに対し、ドライバーのマナー向上のため、街頭キャンペーンなどの広報・啓発に取り組んでいきます。



環境局北事業所内のワケトンコーナー
(啓発物の制作など)

ペットの飼育マナーの向上

ペットは近隣トラブルの原因になることも多く、ペットの飼育は飼い主がマナーや責任を守ることが大切です。

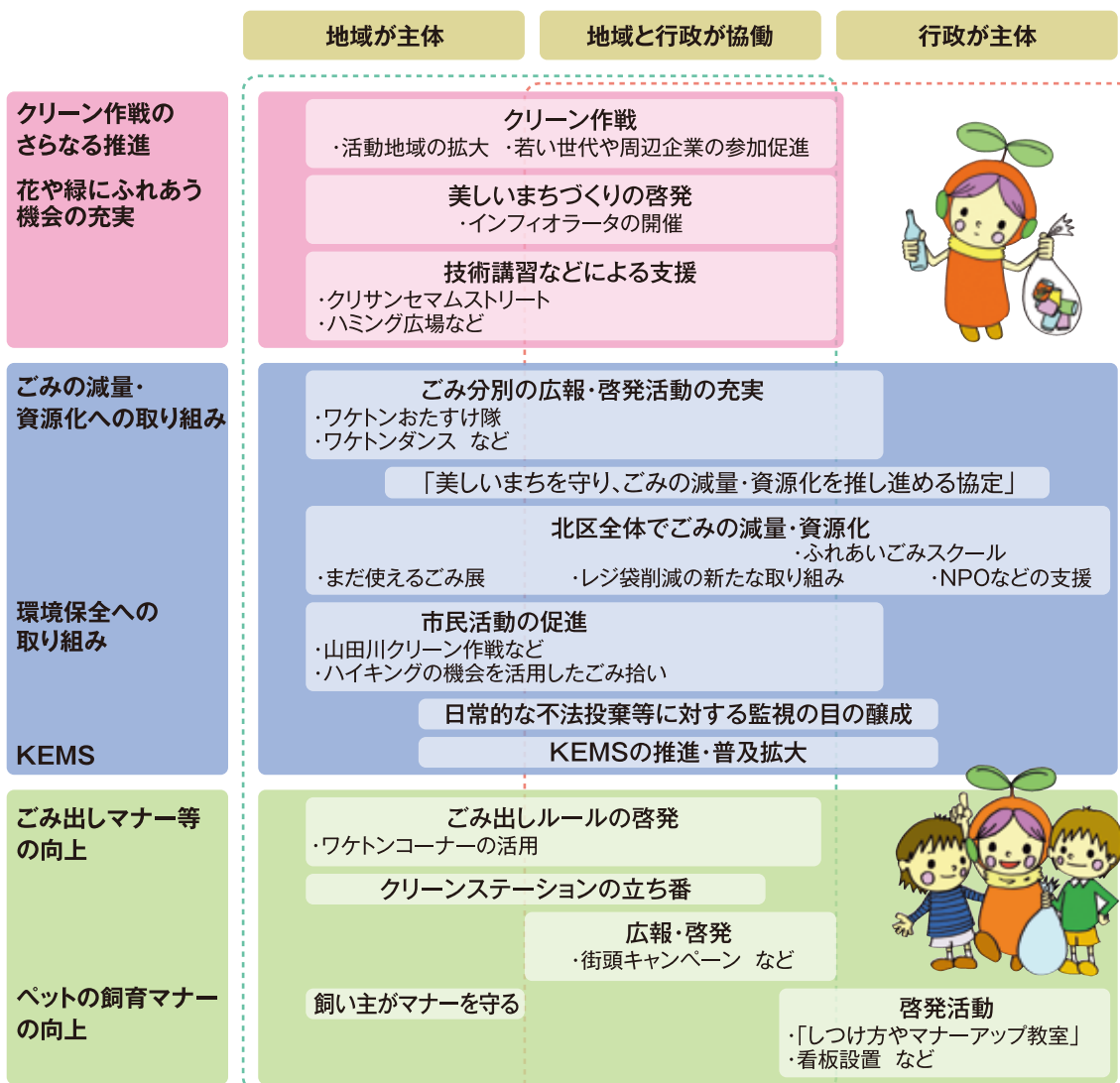
みんなが快適に生活できるよう、飼い主に対して「しつけ方やマナーアップ教室」を開催するほか、看板設置などの啓発活動を推進します。



飼育マナー向上の啓発(区民版広報紙)



取り組みイメージ



計画の実現に向けて

北区計画を実現するために、PDCAサイクルの全ての過程において、区民のみなさんと区役所がいつしょになって進行管理を継続的に行っていきます。区民・事業者・行政が協働し、より良い北区をつくっていきましょう。



PDCAサイクル

Plan (計画)

地域の問題が多様化・複雑化していく中で、行政だけでなく区民のみなさんの目線での課題の発見と、解決策の設定が必要です。そこで、アンケートやシンポジウムで区民のみなさんの意見を伺い、「北区民まちづくり会議」を中心にとりまとめました。

Do (実行)

計画を着実に進めるためには、区民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たすとともに協働で取り組む必要があります。

区民のみなさんは主体となって地域でまちづくりに取り組みましょう。

事業者のみなさんは積極的に地域活動に参加しましょう。

行政はサービスの充実・地域活動をしやすい環境づくりや支援・情報の発信など、区民のみなさんの活動をサポートし、計画を実行していきます。

Check (評価)

計画の実現のために、定期的に進捗・達成状況を確認することが重要です。行政の内部評価だけでなく、「北区民まちづくり会議」での検証や助言をもとに、年度ごとに検証・評価を行います。進捗状況を確認するものさしの一つとして、「まちづくり指標」を重点テーマごとに設定します。

Action (改善)

計画を実行し、検証・評価をするなかで、取り組みの問題点や新たな課題が見つかることもあります。社会情勢が大きく変わることも考えられます。みんなで意見を出し合い、評価に応じて計画をより実効性のあるものへと改善していきましょう。

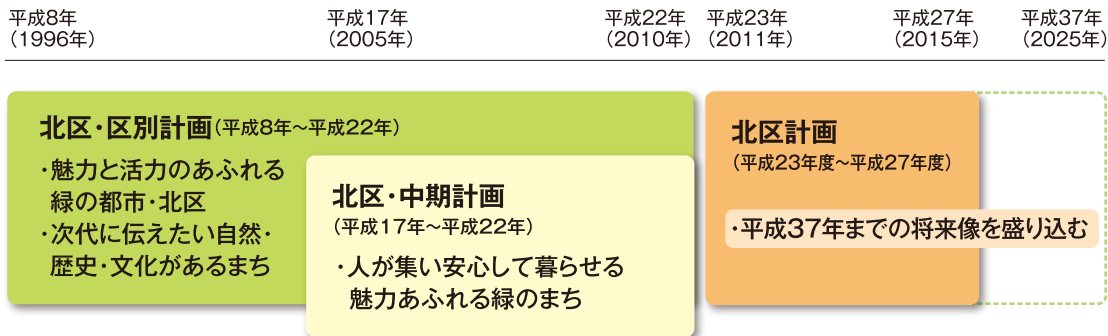
《まちづくり指標》

重点テーマ	指標項目	現状値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)
①地域力の向上	新たに「地域提案型活動助成」で採択された活動のうち、継続している活動数を平成27年度までに15団体増やす。	45件	新たに15件
	自治会の新規結成数 もしくは連合自治協議会の加入数を平成27年度までに5団体増やす。	(単位自治会数) 377団体 (連合自治協議会 加入数) 238団体	新たに5団体
②北区の魅力の活用と情報発信	茅葺き民家を活用したイベントの開催数を平成27年度には10回／年開催する。	6回／年	10回／年
③安全で便利なくらしの実現	区内で受講した市民救命士資格取得者数を平成27年度までに12,000人増やす。	18,053人	新たに 12,000人
	北区民暴力団追放大会を毎年継続して開催する。	1回／年	1回／年 継続開催
④次世代づくり ⑤健康づくりと福祉の充実	世代間交流事業を平成27年度には30回／年開催する。	18回／年	30回／年
⑤健康づくりと福祉の充実	健康づくりリーダーの養成者数を平成27年度までに100人増やす。	400人 (平成22年度)	500人
⑥美しいまちの推進	「美しいまちを守り、ごみの減量、資源化を推し進める協定」を平成27年度には30団体と締結する。	17団体 (平成22年9月)	30団体
	地域資源集団回収量(年間1世帯あたり)を平成27年度には165kgに増やす。	135kg	165kg

北区計画の策定経緯

これまでの北区の計画

平成8年に策定した区別計画では、「魅力と活力のある緑の都市(まち)・北区、～次代に伝えたい自然・歴史・文化があるまち～」を基本理念としており、平成17年に策定した中期計画では、「人が集い 安心して暮らせる 魅力あふれる緑のまち 北区」をめざして取り組みを進めてきました。

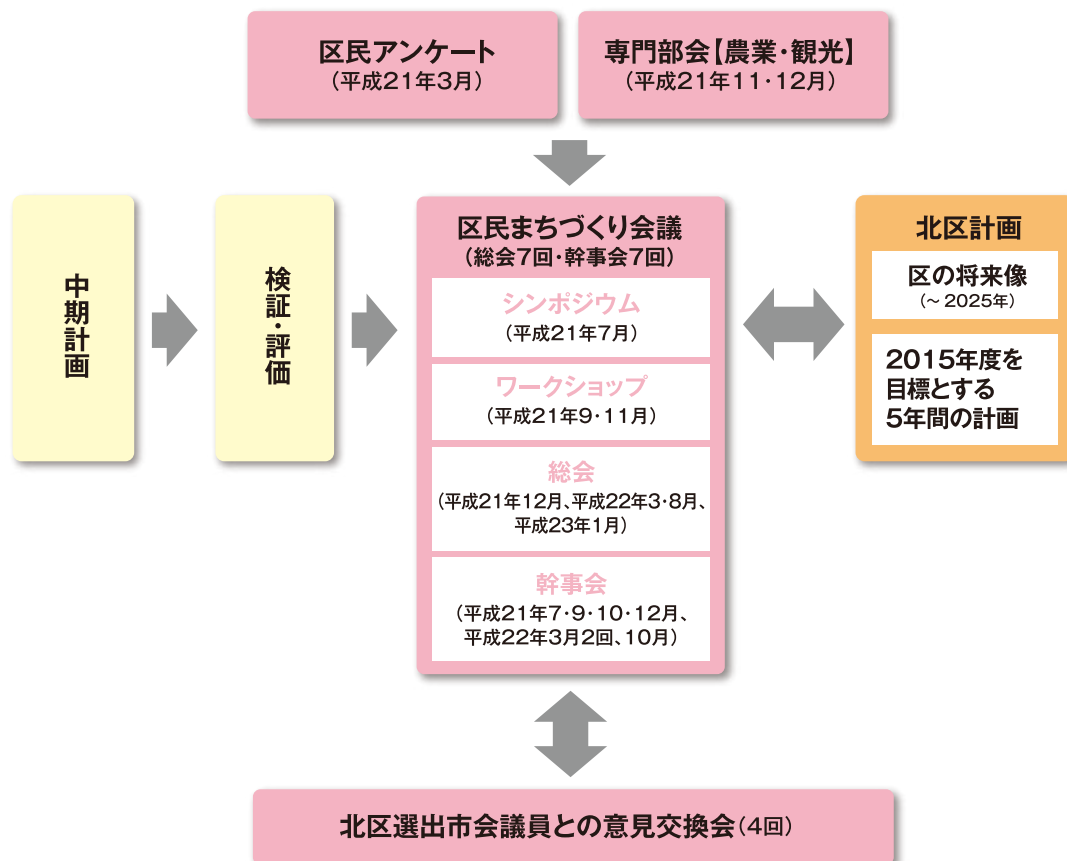


北区計画の策定経緯

北区計画策定にあたっては、中期計画の検証・評価をふまえ、区民のみなさんや地域団体等の意見を聞きながら、区民まちづくり会議が中心となって、とりまとめを行いました。

平成21年7月のシンポジウムをキックオフとし、北区民まちづくり会議総会を7回、北区選出市議員との意見交換会を4回開催いたしました。

さらに、北区としては、第1次産業の農業と第3次産業の観光(有馬等)が主であることから、特別に専門部会を設置して、専門的立場からの意見もいただきました。



1. 中期計画の検証・評価

中期計画では、重点的に取り組むテーマごとに、まちづくり指標を定め、毎年度検証評価を行ってまいりました。

■平成20・21年度中期計画検証・評価結果

重点を置いて取り組むテーマ	20年度 評価	21年度 評価
① 住民が主役のまちづくり	A	A
② 活力あふれる安全・安心のまちづくり	A	A
③ 美しいまちの推進	A	A
④ 健康づくりと福祉の充実	A	A
⑤ 安心して子育てできるまちづくり	B	A
⑥ 「農」のある北区づくり	B	B
⑦ 北区の魅力と情報発信	A	A

2. 区民アンケート

■対象者 2,716名

内訳	無作為抽出 1,000名
	地域団体 700名
	小中学生 1,016名

■回答率 1,529名 (56.2%)

内訳	無作為抽出 277名 (27.7%)	} 一般
	地域団体 388名 (55.4%)	
	小中学生 864名 (85.1%)	

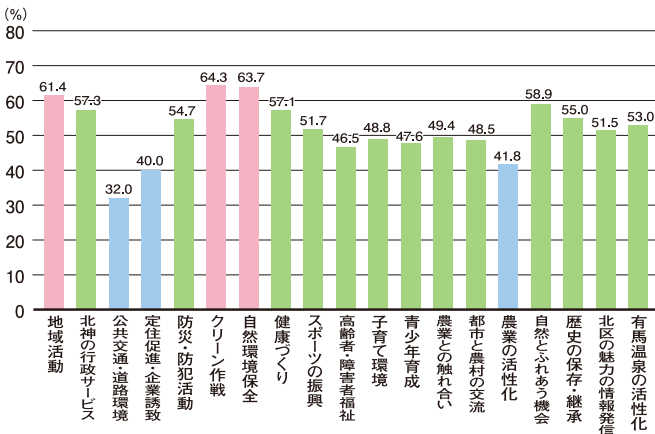
■調査期間 平成21年3月～4月末

- ### ■調査項目
- ① あなた自身のことについて(回答者属性)
 - ② 北区の現状に対する満足度
 - ③ 今後、特に取り組んでいくべきこと
 - ④ 取り組みの主体

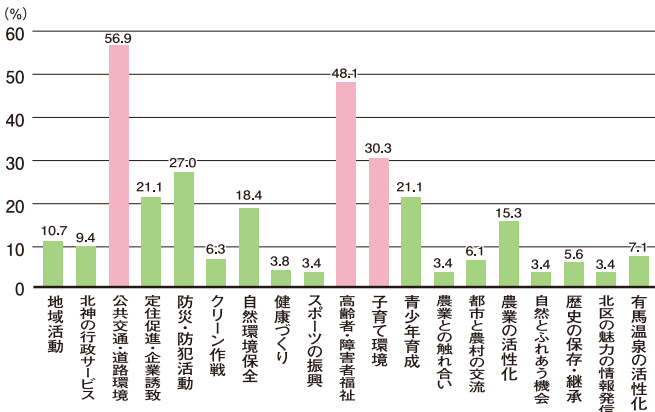
■区民アンケート調査項目

- ① 自治会・婦人会・ふれあいのまちづくり協議会などの地域活動
- ② 岡場駅前の北神行政サービスセンターの区民サービス
- ③ バス・鉄道の公共交通や道路環境
- ④ 定住促進や企業誘致などによる、にぎわいのあるまちづくり
- ⑤ 防災・防犯活動
- ⑥ 地域で行うクリーン作戦
- ⑦ ごみの減量化、資源の有効利用など自然環境保全への取り組み
- ⑧ ウォーキングなど日頃からの健康づくり
- ⑨ 大会の開催などによるスポーツの振興
- ⑩ 高齢者福祉・障がい者福祉
- ⑪ 子育てしやすい環境
- ⑫ 青少年の健全育成
- ⑬ 田植え体験など、農業にふれあう機会
- ⑭ 伝統行事などを活かした都市と農村の交流
- ⑮ 農業の活性化
- ⑯ ハイキングなど自然とふれあえる機会
- ⑰ 名所旧跡や伝統芸能などの保存と継承
- ⑱ ホームページなどによる北区の魅力の情報発信
- ⑲ 有馬温泉の活性化

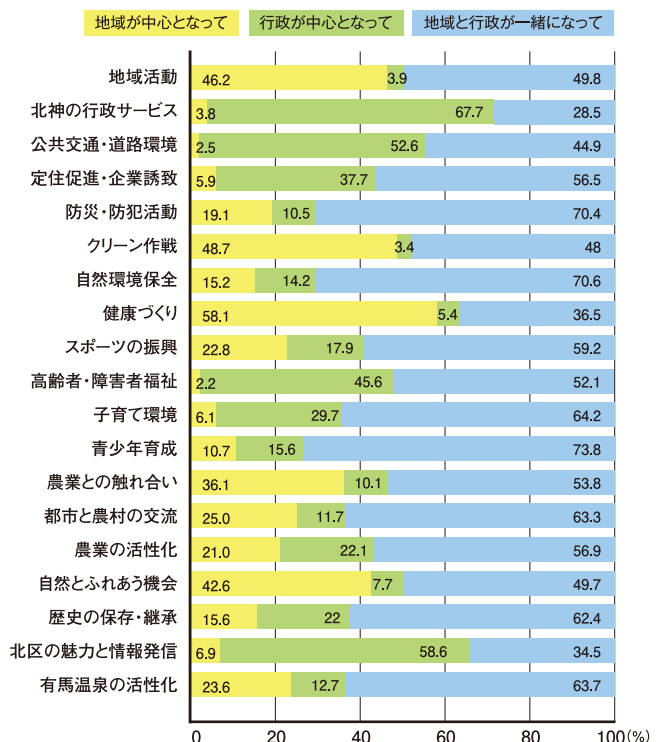
■北区の現状に対する満足度(一般回答)



■今後取り組んでいくべきこと(一般回答)



■取り組みの主体(一般回答)



3. 北区民まちづくり会議での検討

北区民まちづくり会議総会(全7回)、幹事会(全7回)の開催

これからの北区のまちづくりを考えるシンポジウムの開催

- 日 時 平成21年7月22日(水) ●参加者 約320名
- 内 容 まちづくりの取り組み事例の紹介や地域活動に取り組んでいる若い世代を中心にパネルディスカッションなどを実施



第1回ワークショップ

- 日 時 平成21年9月15日(火) ●参加者 北区民まちづくり会議委員 35名
- 内 容 長期的な方針について

■ワークショップの結果

①北区の現状

いいところ

自然	自然が豊か	16
	緑が多く、空気がきれいである	5
	自然が多くて、住むのに最適	4
	都心の近くで自然(緑)を楽しめる	3
	緑と花のある自然を活かした町づくり	2
	棚田があり美しい	1
	ハイキングコースが多い	1
	計	32
歴史文化	名所旧跡など文化財が多い	10
	伝統文化に恵まれている	3
	計	13
観光	有名な有馬温泉がある	7
	農業と観光、歴史がある	1
	計	8
農業	農産物が豊富	5
	農業地帯、観光地、新市街地とバランスが取れている	2
	農村地区と住宅地が隣接し、地産地消に有利	1
	計	8
交流	人と人のつながりが良い(隣近所が親しい)	3
	ふれあいと交流がある	1
	新旧世代が混在している	1
	都会性と田舎、大学と地域の交流	1
	地域の夏祭りや福祉センターの利用が盛ん	1
	計	7
生活環境	安全、安心(治安が良い)	2
	福祉施設が多い	2
	スポーツ施設が充実している	1
	環境が良い	1
	水道水がおいしい	1
	計	7
交通	高速道路網が多面的で便利	2
	交通の便が良い	1
	計	3

気になるところ

交通	交通の便が悪い	11
	交通網ネットワークが充分でない	9
	道路が狭い	7
	公共交通機関が不便	6
	公共交通運賃が高い	3
	坂道が多く、高齢者に負担	3
	駅前の未整備(鈴蘭台、谷上)	1
	歩道の未整備(老朽団地)	1
	計	41
生活環境	鈴蘭台駅前の整備が必要	3
	神戸電鉄各駅の整備(山の街駅、有馬口駅など)	3
	鈴蘭台地区に公園が少ない	1
	北区に核となるところがない	1
	市街地開発に計画性がみられない	1
	買い物が不便。大型店ばかりで小売店が少ない	1
	医療機関の通院がしにくい	1
	映画館がない。健全な遊び場がない	1
	計	12
マナー	ゴミのポイ捨て・不法投棄	4
	犬や猫のフン、飼い主のマナーの悪さ	2
	青少年への指導不足	1
	改造車、単車の夜間走行	1
	計	8
少子高齢化	少子高齢化が進んでいる	4
	少子高齢化対策が不十分	3
	計	7
交流	地域間の交流が少ない	4
	人と人の交流がない	1
	計	5
自然	里山の整備が遅れている	1
	裏六甲連山で地域が分断	1
	六甲山の背山なので、関西の中で目立たない	1
	計	3
歴史文化	伝統文化と触れ合う機会が少ない	1
	新しい住宅が増え、古い伝統がなくなりつつある	1
	計	2
観光	PRが不十分	1
	計	1
その他	若い人達が北区に定着したくなる希望をつくる必要がある	1
	北区に住む若者の意識調査の実施を求む	1
	行政・住民の危機管理意識の欠如	1
	計	3

②北区の目標(めざすべき姿)

グループ①

テーマ キャッチフレーズ

- 自然
文化
情報
観光
- ・自然の中の住みよいまち
 - ・歴史文化を大切にすまち
 - ・農のあるくらし
 - ・世界の温泉有馬

グループ②

テーマ キャッチフレーズ

- 交通
交流
情報
- ・安全、便利、安価な交通環境づくり
 - ・多様な情報の充実したまちづくり

グループ③

テーマ キャッチフレーズ

- 交通
自然
交流
- ・自然を求めて人のつくる 北区

グループ④

テーマ キャッチフレーズ

- 交通
観光
文化
自然
開発
- ・自然と歴史の出あう、まち、北区
 - ・温泉と農のまち、北区

グループ⑤

テーマ キャッチフレーズ

- 交通
生活環境
(環境整備
・マナー)
自然
(温泉含む)
- ・自然豊かで住みやすい街 北区
 - ・交通アクセスの良い生活環境 北区
 - ・環境マナー先進地 北区

グループ⑥

テーマ キャッチフレーズ

- 自然
交通
伝統
文化
- ・自然と伝統を守り共生するまち北区
 - ・若者が希望を持てるまちづくり

■ワークショップの結果

重点テーマを設定し、実現のための具体的取り組みとその主体、検証評価方法について議論

地域	地域&行政	行政
<p>重点テーマ① 地域力の向上</p> <p>キーワード 地域内連携・地域間連携 行政側の体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体間の情報交換 ・自治会、婦人会等組織の充実(未加入者への加入呼びかけ) ・ボランティアの養成 ・交流イベントの実施 ・他地域のイベントに参加呼びかけ ・地域間の情報集め 	<ul style="list-style-type: none"> ・上津台自治会作り。行政の支援 ・上津台住民との連携。行政側の体制づくり ・それぞれの分野に於ける指導者、リーダーの養成 ・各地のボランティア、NPO団体との連携。活動助成、活動支援(行政と)交流会の実施 ・自治会間の交流。各地区の特性的な状況。情報交換 ・特産物を地域一体で生産活動に励む ・趣味の会グループの育成助成
<p>・自治会、婦人会、老人クラブの加入率の向上(10%アップ) ・北神行政サービスセンターの機能充実案件数(3~4件)</p>		
<p>重点テーマ② 北区の魅力の活用と情報発信</p> <p>キーワード 農業、自然、歴史文化、観光、交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントの担い手不足の解消 ・北区の魅力を新住民に伝える ・新しいイベントを開催 ・市民農園→野菜作り教室など開催 ・農産物の卸売所をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者に希望を」検討会の実施 ・若者が働く場を北区に ・農業の活性化。農業法人の拡大 ・区民が北区を知るイベント、地域との交流を主にしたイベント開催 ・休耕田で就労支援 ・北区各町で神社、仏閣、旧跡めぐりウォーキング
<p>・若者の農業就業数増加率 ・企業化した農家数 ・農業法人の数(増加)</p>		
<p>重点テーマ③ 安全で便利なくらしの実現</p> <p>キーワード 安全(防災・防犯等) 便利(公共交通・道路環境・駅前整備等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別的な地域パトロールを全体的、組織的な活動に展開させる ・緊急連絡網体制の充実(コミュニティサイトの充実) ・防災福祉などコミュニティ活動への参加を強く要請して行く ・住民情報が集約されている拠点づくりをする ・安全マップの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学道路(特に朝)の交通マナー向上 ・谷上駅前整備 ・428号、三田~三木線など幹線道路の早期交通量の緩和対策 ・地域と警察の連絡強化 ・地域コミュニティバス(地域運営型)を充実し、マイカー利用を減らす
<p>・空き巣の件数、街頭犯罪の件数 ・ラッシュ時間帯の交通量調査 ・住民アンケート調査(地域による)</p>		
<p>重点テーマ④ 次世代づくり</p> <p>キーワード 少子化対策、子育て支援、青少年育成、教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の歴史発見、青少年育成 ・地域の由来や歴史について高齢者が子供達に話す機会を設ける ・少年野球、卓球他スポーツを通じて地域の人達と交流 ・婦人会の援助や協力で、若い母親の交流の場や親への教育の場の創出 ・世代間交流活動の実施 ・子育てに高齢者が参加・支援できる場を作る ・登下校時の子供達に会えば挨拶子供達に挨拶させる ・親子で週末スポーツに参加 ・福祉センターなどを活用して子育て教室を数多く設ける ・自然、地域、多様な世代と触れ合う ・子供の遊び方を提案 ・地域の祭りを盛り上げる。昔からある祭り行事などを活発にして、田舎でない出来ぬ催しをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子や3世代参加できるロードレースなどのイベントを定期的に開催する ・学校と地域との定期的。人と学校施設の有効活用 ・母子教室の充実。高齢者の子育て相談 ・青少年の居場所づくり ・地域(保・幼・小・児童館)、学校・家庭が連携し、ふれあい交流を図る(一堂に) ・大家族世帯の表彰 ・親子地域で防災対策を勉強する
<p>・児童数の増加</p>		
<p>重点テーマ⑤ 健康づくりと福祉の充実</p> <p>キーワード 健康づくり、高齢化対策、高齢者・障害者福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りグループをつくる ・子供と高齢者のつどいを増加する。昔話等 ・地域のボランティア活動に出来るだけ参加する ・高齢者の男性同士ふれあい活動参加をすすめる ・地域行事に参加するよう呼びかける ・幼児、小学生等の健康体力づくり政策の充実 ・【ウォーキング】北区の身近で豊かな自然を散策しながら足腰をきたえる ・高齢者同士誘い合ってグループを作って健康づくりに励む ・地域福祉センター等を利用して障害者との交流をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が学ぶ場を増やす ・健康者への教育設備 ・北区では医師不足問題への取り組み(小児科、産科)。医療機関の充実 ・病弱者への簡易健康診断設備充実 ・福祉対策の一つとして、デイサービス施設を増やす ・定期健診の実施(ホームドクター) ・高齢者施設、障害者施設を充実させる、増やす
<p>重点テーマ⑥ 美しいまちの推進</p> <p>キーワード 生活環境(美緑化の推進・ゴミ等) マナー(不法投棄・犬猫のフン等) 自然環境保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・犬の飼主へのマナー啓蒙活動 ・方法:犬の飼主にパトロールを実施するワンフンパトロール ・駅周辺の美化清掃(民地、商店前) ・公園、文化財の掃除を自治会、婦人会、子供会、老人会でおこなう ・マナーの向上に向けた広報活動の強化 ・自宅前の道路等の清掃、除草等をいつも実行するように努める ・クリーンステーション。立番、指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦の強化 ・駅前の通路に商品を並べない ・標識板を見やすく提示。例えば、鈴蘭台交番はあちら ・犬猫のマナーの啓蒙。看板、ビラ配布等 ・公園等の清掃活動を支援する ・不法投棄の取り締まりの強化。パトロールの強化 ・下水道の整備。未整備地区有り ・駅周辺の美化・清掃(道路等) ・まちの美しい環境を守るための条例の制定 ・と罰則の強化(タバコのポイ捨てなど) ・自転車置場の設置 ・放置自転車、駐車違反対策 ・美化を呼びかける。目につく場所に立て看板設置

4. 専門部会の開催

●農業部会

日 時 平成21年11月27日(金)

参加者 神戸市農業委員会 会長、神戸北肉牛生産部会 部会長、道の駅淡河直売部会 部会長
淡河花卉部会 部会長、大沢コンパクトタウン研究会 農業活性化部会長、神戸北野菜生産者協議会代表
兵庫六甲農業協同組合神戸北地区担当理事、産業振興局農政計画課、農業振興センター北分室、北区役所

●観光部会

日 時 平成21年12月24日(木)

参加者 社団法人 有馬温泉観光協会 役員 11名、国際文化観光局観光交流課、北区役所

5. 北区選出市議員との意見交換

●第1回 平成21年5月1日(木)

●第2回 平成21年10月27日(木)

●第3回 平成22年2月19日(金)

●第4回 平成22年10月19日(火)

6. 市民意見の募集

第5次神戸市基本計画〔長期的な神戸づくりの方向性を示す「神戸づくりの指針」、及び2015年度を目標年次とする実行計画である「神戸2015ビジョン」と「各区計画」〕の原案について、市民のみなさんのご意見を募集しました。

意見募集期間 平成22年12月7日(火)から平成23年1月11日(火)

意見募集結果 4通、8件

北区計画用語集

※1 (P13)

まち育てサポーター

さまざまな地域づくり・まちづくり活動に対して、区役所と一体となって、「地域の個性を活かした地域主体の地域づくり・まちづくり」(まち育て)を支援(サポート)するために、公募で選ばれた民間の人材。

※2 (P18)

ユニバーサルデザイン

年齢、性別、文化、身体状況など、人々が持つ様々な個性や違いを越えて、一人ひとりが互いに多様性を認めあい、だれもが利用しやすいように、まちや建物、製品、環境、サービスづくりを行っていく考え方。

※3 (P21)

ユースステーション

中学・高校生が家庭や学校以外の場所で、仲間づくりやさまざまな世代との交流ができるように設置されたスペース。

※4 (P23)

ソーシャルビジネス

環境や貧困問題など様々な社会的課題に向き合い、ビジネスを通じて解決していくこととする活動。収益を目的とする一般企業でもなく、非営利活動を行うボランティアでもない、新しいビジネスの形態。

※5 (P25)

インフィオラータ

イタリア語で「花を敷きつめる」という意味で、道路や広場などに花びらなどで絵模様を描き、鑑賞に供するというイベント。

※6 (P25)

クリサンセмумストリート

北区の玄関口である鈴蘭台駅から北区役所にいたる道を、北区の花“キク”や四季折々の花でおもてなしする花壇。

※7 (P25)

ハミング広場

草花の栽培及びこれに付随するその他の活動を行うために、公共的な土地又は施設に設置したフラワーベース。

※8 (P25)

オープンガーデン

私有地である個人の庭園に、一般市民を招き入れることにより、多くの市民が楽しみ、喜びを分かち合う場。

※9 (P26)

KEMS

環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を、中小規模の組織でも取り組みやすくした神戸版のシステム。

北区のマスコットキャラクター



北区の豊かな自然を表す。
季節やイベントに応じて変化

魅力的で活発なイメージの
ピンク色を採用



プロフィール

[2004年4月1日デビュー]

出身：北区
家族：5人家族
趣味：家族旅行
特技：どろんこバレー
長所：寒さに強い
短所：方向音痴
好きな食べ物：いちご、そば